

なぜ 英語が話せないの

< 4 >

わが国の英語教育に「活」を入
れようと、欧米から年間約七十
人の助手を招き、全国に派遣し
ている。

翌年、帰国したウィルムズさ
んの「体験記」は、驚きと失意
が交錯したものだ。外
語の教師が、教える言語を話
せないなんて、海外ではあり得
ないこと」と、ウィルムズさん

国から一人の美人英語教師が福
岡市へやって来た。ポニー・ウ
生を対象に毎週、約二十人ずつ

求められる質の向上

能力に欠ける教師たち

は強いショックを受けた。

「役に立たない英語教育」が

叫ばれて久しい。これまで指摘

したように、読み、書きに偏っ

た入試英語、会話力不足の教

師、恥の文化構造……と実用英

くさんの「悪習」の中で、ウイ
ルムズさんは「先生たちの質の
教師たちの実態をレポートす
る。向上、意識改革がなによりも急



「実用会話教育の充実が必要」と語るウィルムズさん

わが国最初の「英会話教師」
は、米国人ラナルド・マクドナ
ルドである。父はハドソン灣商

会の営業支配人、母はインディ
アンの酋長の娘。白人の恋人が
いたが「チヌーク族の血が混じ
っている」と拒否されて失恋。

落胆のなか「チヌーク族の祖先
は日本からきた」という伝説を
信じて、ルーツ探しに旅立っ

た。一八四八年、捕鯨船で北海
道の利尻島に到着。スパイと間
違われて長崎に送られ、七月月
の「幽閉期間」に日本人にナマ
の英語を教えた。五年後の一八
五三年に浦賀に来たペリーの首
席通詞を務めた森山多喜郎が教

え子の一人であることはあまり
知られていない。

「洋書の正確な翻訳」が主体
だった当時、森山が短期間に英
会話を習得、ペリーから「あな
たの英語はうまい」とほめられ

た事実は、特筆に値する。
マクドナルドの訪日から百三
十余年を経た昭和五十四年。米

イルムズさん。肩書は、文部省

派遣の「英語指導主事助手」。

福岡県下の中、高校で英語授業

を助け、生きた英語教育に一役

買うのが任務である。文部省

は、九年前からこの制度を採
た」

県教委によると、県下の英語

語の進歩を阻む要因は多い。た